

会 議 記 録

作成部局課名 塩田地域自治センター

開催日	平成 19 年 12 月 20 日(木)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 50 分
会議名	塩田地域協議会(平成 19 年度第 8 回)		
出席者	委員 14 名(欠席者 6 名)		

会議次第

- 1 開会 (塩田地域自治センター長)
- 2 会長あいさつ (大口会長)

概 略 都市計画マスタープラン策定のための 4 回目の会議となる。方向付けの重要な会議であり、更なる検討をお願いする。今回欠席者が多く残念だが、重要な組織であるので必ず出席してほしい。

3 協議事項

- (1) 塩田中学校改築事業の進捗状況について(担当課：教育総務課)

説明要旨

- ・ 塩田中学校改築事業に伴う事業スケジュール、本年度事業、今後の予定、仮設校舎の概要等について、教育総務課から説明

主な質疑

- ・ 原油価格が、高騰しているがこの場合の対応はどのようにするのか。
- ・ 事業の進捗状況を記録に残すことを考えているか。
- ・ 別所小学校の、体育館の取り壊しの際使用していた木材を、卒業生に配分した経過があるがそのような考えはあるか。
- ・ 30m掘り下げても、支持地盤に当たらなかったと聞いているが、どのようにするのか。

主な回答

- ・ 鉄骨や原油価格の高騰に伴う事業費の高騰については、今後予算要求において対応してゆく。
- ・ 地盤強化については、別の方法も含め総合的に判断し、プールなどはステンレスや強化プラスチックなども検討していきたい。
- ・ 事業の進捗状況を記録に残す件については、よい方法があれば残しておきたいので検討したい。
- ・ 浦里小学校では、校舎の屋根瓦を配布して事例があり、要望があれば検討したい。

- (2) 上田市都市計画マスタープラン策定・地域別構想について(担当課：都市計画課)

<p>説明要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画マスタープラン策定・地域別構想について、「意見記入シート」や「会議中の意見」を参考にまとめたものについて都市計画課から説明
<p>主な質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路・交通の整備方針において、自転車で通行していると歩車道の段差の解消と道路面のゆがみが気になる。 ・ 公共公益施設等の整備方針において、新相染閣や別所温泉の充実など温泉を中心とした住民の健康づくりの核にしてほしい。 ・ 自然環境の保全・活用、景観の形成方針において、地域資源であるため池を項目に入れるべきである。 ・ 別所温泉の県道を市道にできないか。北向き観音周辺の電線類の地中化を検討している。まちなみ整備研究委員会では、文化財保護・保全、温泉資源保全に向け取り組んでいる。 ・ 地域防災意識への取り組みを盛り込み、隣近所の協力体制の整備や充実を図るべきである。 ・ 都市計画マスタープランは、計画だけでなくいかに実行していくのが重要である。平井寺トンネルの、無料化に伴う交通量の増加に対する対策や、上田トンネルができるのか、実現できる方向への努力が必要である。 ・ 遊休荒廃農地解消の方策の検討は、計画の具体化が課題である。 ・ 塩田の魅力アピールとして、別所温泉だけの活性化は難しい。地元での温泉利用の促進や旅館の対応の改善も必要である。 ・ 別所温泉の活性化は、地元の意見が重要で地元で愛されたり、愛着の沸く温泉でなくてはならない。 ・ 基本構想と具体化とは別問題である。相染閣について市は、別所温泉のための施設ではなく、市全体の中で考えている。 ・ キャッチフレーズについては、シンプルなものでため池の位置付けが問題となる。 ・ 「塩田平」の響きがいいと思う。 ・ 「里山」と「塩田平」を入れたい。 ・ 子供が口ずさめるキャッチフレーズが良い。 ・ 基本目標は、方針と重なっても良いものか。
<p>主な回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線が、金沢まで営業すれば上田は単なる通過点になってしまいます。現在の資源の活かし方について検討しなくてはならない。 ・ 歩車道の段差の解消などは、フラットタイプが望ましくユニバーサルデザインの方向付けを入れたいと思う。 ・ 別所温泉などは、地域資源として活かせる方策を示し、資源のネットワーク化に結び付けて生きたい。 ・ 塩田地域の差別化したキャッチフレーズやイメージが良いと思う。

- ・ 基本目標は、大筋を示すものであり方針は、目標達成のための方策となる。
- ・ キャッチフレーズは、「塩田平」で含まれればそれでも良いが、必要であれば「里山」を入れてもかまわない。

(3) その他

ア 資源循環型施設の学習会の開催について報告（担当課：塩田公民館）

説明要旨

- ・ 資源循環型施設の建設問題について、賛成や反対の意見交換だと施設のことに偏った内容になってしまいます。
- ・ 公民館の講座として、ごみ全体にかかわる基本的な事項を学ぶ学習会としたい。

主な質疑

- ・ ごみ問題は、行政としての課題でありなぜ下之郷なのか。学習会は、年度中に3回の開催を希望する。
- ・ 学習会において、賛否の意見が出たり、会場入り口でビラ配りがあつたらどのようにするのか。
- ・ この学習会は、あくまで理解を深めるための学習会としていきたい。

主な回答

- ・ 学習会は、2回目終了時にアンケートをとり、参加者の意見を反映し3回目以降の内容としたい。
- ・ 公民館で行う学習会は、あくまで基本的な事項を学ぶこととし、自分で考えるための基礎知識を提供するものである。

イ 田園整備事業上田青木地区コア施設について（担当：地域協議会長）

説明要旨

- ・ コア施設については、建設予定地の整地が済み平成20年度末完成予定である。
- ・ 施設の運営にあたっては、3団体（自治会連合会、振興組合、JA）で組織する管理委員会があたることとなる。

主な質疑

- ・ 特段の意見はなかった。

4 その他
特になし

5 閉会